

◆ 活動予定 ◆

第1回 S-8 インフォーマル・セミナー

「S-8」とは、環境省環境研究推進費戦略研究「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の略称で、ICAS は国際班(代表者: 安原一哉先生)を担当しています。このたび第1回目の会合として10月5日にセミナーを開催することになりました。

- ◆日時: 2010年10月5日(火) 13:30-16:00
- ◆場所: 茨城大学水戸キャンパス
環境リサーチラボトリー棟1F・遠隔講義室
- ◆プログラム
 - ・13:30-13:40 安原 一哉 (茨城大学 ICAS)
趣旨説明
 - ・13:40-14:00 藤森 真理子 (パシフィックコンサルタンツ)
「途上国における適応策の現状と課題」
 - ・14:10-15:00 久保田 泉 (国立環境研究所)
「UNFCCC 下での適応策関連の議論の現状」
 - ・15:10-16:00 フリーディスカッションとまとめ

お問い合わせ ICAS 本部
 TEL/FAX 029-228-8787
 E-mail icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆第2期 W-BRIDGE プロジェクトの採択決定◆

早稲田大学と(株)ブリヂストンが共同で運営する環境活動助成事業「W-BRIDGE」の助成(期間 2009年7月~2010年6月)を受けて、茨城県筑西市、城里町の両商工会と ICAS が連携して取り組んできた地域活動・研究は、2010年7月に「地域連携で生み出すいばらきエコ・ネットワーク STEP2(ネットワークからコミュニティへの展開)」として改めて採択されました。

これにより、さらに今後の1年間も「W-BRIDGE」の助成を受けて、商工会と ICAS を中心とした地域サステナ活動が展開されることとなります。今後もこれまでの取組みを拡充し、また他の地域団体を巻き込みながら、地域サステナビリティを追求していく予定です。



2010年6月28日には前年度の「W-BRIDGE」による活動の総括を目的とした最終報告セミナーを開催しました。これまでの活動の成果と課題を踏まえ、今後の展望が議論されました。

2010年度 ICAS カレンダー

4月	新年度スタート 4/12 第1回 ICAS セミナー 4/19 第2回 ICAS セミナー	10月	10/5 第1回環境省(S-8)インフォーマル・セミナー 3者連携シンポジウム(三の丸ホテル) ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム) 10/30 第1回「サステナビリティ学最前線」(大学院)
5月	5/10 第3回 ICAS セミナー 5/24 第4回 ICAS セミナー 5/28 ICAS キック・オフ・ミーティング	11月	11/6-7 日本平和学会秋期研究集会(ICAS 共催) 11/6 第2回「サステナビリティ学最前線」(大学院) 11/13 第3回「サステナビリティ学最前線」(大学院) ICAS 教育シンポジウム(ELIAS)
6月	6/7 第5回 ICAS セミナー 6/12 第1回「サステナビリティ学入門」(学部) 6/21 第6回 ICAS セミナー 6/23-25 ICSS-Rome(ローマ) 6/26 第2回「サステナビリティ学入門」(学部) 6/28 W-BRIDGE 最終報告セミナー 6/29-7/1 オーストラリア適応会議	12月	12/6 第2部門国際シンポジウム UNU アジア適応教育シンポジウム ICSS-Asia(ハノイ) 第1部門ワークショップ
7月	7/5 第7回 ICAS セミナー 7/10 第3回「サステナビリティ学入門」(学部) 7/20 第8回 ICAS セミナー 7/23 グリーン・イノベーション・シンポジウム ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム)	1月	1/11-14 IPCC・WG II 会合(つくば)
8月	8/2 第9回 ICAS セミナー 8/22-28 Cities at Risk ワークショップ(バンコク) 8/21-29 国際実践教育演習(ブーケット)	2月	
9月	9/6 第10回 ICAS セミナー 9/13-15 国内教育実践演習(大洗) 9/21 第11回 ICAS セミナー	3月	第4回学生サステナ・フォーラム

*網掛けは ICAS が主催する企画です ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆「緑のカーテン」で楽しく省エネ！◆

皆さん、「緑のカーテン」ってご存知ですか？朝顔やへちまなど、つる性の植物を利用して、夏の日差しをやさしく遮る、生きた植物の日除けのことを言います。

筑西市では、商工会が中心となり、市役所、学校、事業所などの様々な施設に緑のカーテンを設置する取組みを進めています。これはヒートアイランド現象を緩和させ、省エネ効果を生み出すだけでなく、植物を育てることをきっかけとした環境教育や地域交流の促進も目指しています。

筑西市商工会のこのような取組みは ICAS との連携により実施されることもあり、ICAS でも緑のカーテンを設置しようということになりました。



7月6日に
緑のカーテンを設
置！

現在、毎日、ICAS スタッフが交代でみずやりしながら、緑のカーテンを育てています。植えているのはゴーヤ（ツルレイシ）、ヘチマ、朝顔、琉球朝顔。植物の顔を見ながら、それぞれの成長を観察しています。ICAS の緑のカーテンは植えるのが遅かった為、まだ隙間だらけですが、上手に育てると、びっしりとした緑の壁ができて上がります。ゴーヤの実がなっておりますので、好きな方は是非 ICAS 本部にお越しの際にお持ち帰り下さい。

8月23日現在



緑のカーテン豆知識

(by ICAS 地域コーディネーター・島田)

緑のカーテンは、主につる性の植物を利用して育てます。特につる性の植物を選ぶ時には、ゴーヤやヘチマなど1年生の植物だけでなく、多年生の植物を利用することもできます。例えば、ブドウの木の緑のカーテンは、春に芽が出て秋に葉が落ちてしまうので手間のいらぬ緑のカーテンになります。また、毎年ブドウが採れるのでおいしい楽しみが広がります。

昨年9月に我が家で、ゴーヤを使った緑のカーテンがある・なしでの居室の窓際の温度を1週間測定しました。その結果、最大6.5℃緑のカーテンがある方が涼しく、まだ暑さの残る9月初旬でも室温が28℃を超えることは殆どないことが分かりました。直射日光が、直接窓や壁にあたらぬように建物からできるだけ離して大きく日陰をつくることでできる避暑効果がいかに大きいかがこの測定を通して分かりました。



緑のカーテンによる収穫物

目にも楽しく、涼しくて、おいしい緑のカーテン。ICAS に見に来て、来年は、皆さんのところでも是非チャレンジしてみたいかがでしょうか？

◆ メンバー紹介 ◆



お名前（よみがな）
神長美鈴
(かみなが みすず)
ICAS 水戸スタッフ
事務スタッフ

皆様こんにちは。

今年の4月から ICAS 水戸キャンパスで事務補助を担当しております神長です。

一般企業での勤務を経て、〇年ぶりに学生時代の思い出がたくさん詰まった茨城大学に戻ってきました。学生時代にお世話になった先生方とお会いする事ができ、とても懐かしく感じています。

ICAS は文理融合型の研究機関ということもあり、様々な研究分野でご活躍されている先生方から、ためになるお話をたくさん聞く事ができ、日々良い刺激を受けながらお仕事をさせて頂いております。

ICAS に来てから、半年ほど経ちますが、毎日が充実しているので、本当にあつという間でした。

これからも先生や研究員の方々が円滑に業務を行えるよう、事務的な面からサポートさせて頂きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

◆ 「サステナ」がリニューアルで復活！ ◆

昨年度で一旦休刊していた「サステナ」が「サステナ NEW」として、新たに刊行されることになりました。「サステナ NEW」第1号(通算で15号)は7月22日に発行されました。

「サステナ NEW」でも ICAS メンバーはどんどん記事を執筆していく予定なので、今後ともご愛読のほどよろしくお願い致します。



ICAS on MEDIA

ICAS が約2年に渡り執筆を続けてきた、茨城新聞での連載記事「茨城大学発・持続可能な世界へ」は、順調に書籍化が進められています。茨城新聞社の「いばらき BOOKS10」として10月中旬に出版される予定です。1冊 1000円(952円+税)と手頃なので、是非ご一読をよろしくお願い致します。

Editor's Note

今年は記録的な猛暑だそうですが、皆さんは夏バテしていませんか？ ICAS では緑のカーテンを設置しました。残暑はまだ続きますが、少しでも快適に過ごしたいですね。(R. H.)

